

事務事業実績測定調書

R5調書番号 768

事務事業名称	委託契約事務										
測定年度	2023(R5)年度			部	総務部			課	契約検査課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり									
	施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	地方自治法第234条				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	業務委託を発注する職場			
	サブターゲット	本市が発注する業務委託について、競争入札等に参加する者			
	ターゲットが抱える課題	発注する業務委託について、公正性、公平性、透明性をもって、かつ経済性を確保し、適正に契約を締結する必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	入札・契約過程の公平性、公正性、透明性を高め、もって競争性の確保・向上を図ることにより、競争入札等に参加する者の公平で健全な競争環境が構築され、市にとって最も有利な条件で契約が締結される状態。				
事業概要	発注課の依頼を受け、発注標準及び事業実績等に基づき、適正な入札執行後、契約の締結をする。 (2007年度から、契約事務の一元化により市長部局・教育委員会・市立ひらかた病院・上下水道局・枚方寝屋川消防組合分を含む。)				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						競争入札等に参加する者の公平で健全な競争環境が構築される。 (委託)				発注課の依頼を受け、発注標準及び事業実績等に基づき、適正な入札執行後、委託契約の締結をする。			
指標設定	指標説明					委託契約に係る入札等成立率 【算出式:委託契約に係る落札件数／委託契約に係る入札等適正執行件数×100】				委託契約に係る入札等適正執行率(取止めのない入札執行率) 【算定式:委託契約に係る取止めのない入札執行件数／委託契約に係る入札等依頼件数×100】			
					単位 %				単位 %				
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)					100	100	100	100	1,000	100	100
実績						85.06	86.61	86.91	84.18	1,125	98.71	98.48	99.31
達成度						84%				99%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	5.46
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.15
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	36,456	34,295	43,107		
	会計年度任用職員	330	1,720	320		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	36,786	36,015	43,427		
	物件費計	23	0	10	200	5.0%
歳出計		36,479	36,015	43,437		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		23	0	10	200	

5. 総括的分析

総括的分析	令和5年度は、当年度又は前年度に履行が著しく不良であるとされた者は入札に参加できないこととする条件を付与するとともに、「履行確認（監督及び検査）に関する手引」及び「再委託（下請）に関する指針」を作成する等、委託業務の適正な履行の確保を図った。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も入札・契約事務の公正性及び競争性の確保及び向上並びに当該事務の効率化を促進する。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 769

事務事業名称	工事契約事務										
測定年度	2023(R5)年度			部	総務部			課	契約検査課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり									
	施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	地方自治法第234条				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	建設工事を発注する職場			
	サブターゲット	本市が発注する建設工事について、競争入札等に参加する者			
	ターゲットが抱える課題	発注する建設工事について、公正性、公平性、透明性をもって、かつ経済性を確保し、適正に契約を締結する必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	入札・契約過程の公平性、公正性、透明性を高め、もって競争性の確保・向上を図ることにより、競争入札等に参加する者の公平で健全な競争環境が構築され、市にとって最も有利な条件で契約が締結される状態。				
事業概要	発注課の依頼を受け、発注標準及び事業実績等に基づき、適正な入札執行後、契約の締結をする。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
						競争入札等に参加する者の公平で健全な競争環境が構築される。 (工事)				発注課の依頼を受け、発注標準及び事業実績等に基づき、適正な入札執行後、工事契約の締結をする。					
指標設定	指標説明					工事契約に係る入札等成立率 【算出式:工事契約に係る落札件数／工事契約に係る入札等適正執行件数×100】				令和2年度:工事契約に係る入札等執行件数					
										令和3年度以降:工事契約に係る入札等適正執行率(取止めのない入札執行率) 【算定式:工事契約に係る取止めのない入札執行件数／工事契約に係る入札等依頼件数×100】					
					単位		%		単位		%				
	指標種類						増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	目標 (見込み)						R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績						100	100	100	100	400	100	100	100
		達成度						80%				99%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	3.39
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.80
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	29,778	27,654	26,764		
	会計年度任用職員	2,287	2,270	2,035		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	32,065	29,924	28,799		
	物件費計	0	0	0	0	
歳出計		32,065	29,924	28,799		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	令和5年度から、予定価格2,500万円未満の工事の案件では施工実績を求めないこととし、入札における競争性のさらなる確保を図るとともに、当年度又は前年度に履行が著しく不良であるとされた者は入札に参加できないこととする条件を付与し、工事のさらなる品質確保を図った。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も入札・契約事務の公正性及び競争性の確保及び向上並びに当該事務の効率化を促進する。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 770

事務事業名称	電子入札システム運営事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	総務部			課	契約検査課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり								
	施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2004(H16)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	契約担当課			
	サブターゲット	本市が発注する電子入札案件に参加する者			
	ターゲットが抱える課題	競争入札及び見積合せに付する案件を広く電子入札案件とすることにより、契約事務の効率化を図る必要がある。			
	ターゲットが抱える課題	電子入札に参加するための手続きとコストが負担となっている(サブターゲット)			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	本市入札・契約制度に適合した電子入札システムが安定的に稼動し、効率的に契約事務が行われている状態。				
事業概要	大阪府下で電子入札システムを導入する自治体で構成する大阪地域市町村共同利用電子入札システム運営協議会において、システム開発・運営経費を各自治体で分担支出し、共同運用する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
						本市入札・契約制度に適合した電子入札システムが安定的に稼動する。				システム開発・運営経費を分担支出する。				
指標設定	指標説明					システム障害発生件数				分担金支出額				
	単位		件		単位		円							
	指標種類		減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標							
	指標数値	目標 (見込み)						R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4
実績						0	1	0	0	5,059,710	4,915,213	4,634,208	4,297,511	
達成度		100%				115%								

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.02
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	157	156	158		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	158	156	158		
歳入	物件費計	4,915	6,724	7,632	8,580	89.0%
	歳出計	5,073	6,880	7,790		
	歳入計 (物件費に充当される特定財源)	0	0	0	0	
一般財源 (物件費に充当されるもの)		4,915	6,724	7,632	8,580	

5. 総括的分析

総括的分析	大阪地域市町村共同利用電子入札システム運営協議会の加入団体が1市増加したことにより、若干の経費負担の軽減が図られた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も電子入札システムの共同運用を行い、その安定稼働を確保することにより、入札事務の効率化及び電子入札システムの経費負担の軽減を図る。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 771

事務事業名称	物品契約事務										
測定年度	2023(R5)年度			部	総務部			課	契約検査課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり									
	施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	地方自治法第234条				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	物品業務を発注する職場			
	サブターゲット	本市が発注する物品業務について、競争入札等に参加する者			
	ターゲットが抱える課題	発注する物品業務について、公正性、公平性、透明性をもって、かつ経済性を確保し、適正に契約を締結する必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	入札・契約過程の公平性、公正性、透明性を高め、もって競争性の確保・向上を図ることにより、競争入札等に参加する者の公平で健全な競争環境が構築され、市にとって最も有利な条件で契約が締結される状態。				
事業概要	発注課の依頼を受け、納入実績、取扱状況を勘案して業者選定を行い、適正な見積り合わせ、または入札執行後、購入・賃借契約を締結する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						競争入札等に参加する者の公平で健全な競争環境が構築される。 (物品)				発注課の依頼を受け、納入実績、取扱状況を勘案して業者選定を行い、適正な見積り合わせ、または入札執行後、購入・賃借契約を締結する。			
指標設定	指標説明					物品契約に係る入札等成立率 【算出式:物品契約に係る落札件数／物品契約に係る入札等適正執行件数×100】				物品契約に係る入札等適正執行率(取止めのない入札執行率) 【算定式:物品契約に係る取止めのない入札執行件数／物品契約に係る入札等依頼件数×100】			
						単位				単位			
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					100	100	100	100	74,000	100	100	100
	実績					99.60	99.43	99.53	98.96	71,084	99.97	99.97	99.95
	達成度					99%				100%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	3.65
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.80
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	32,607	26,561	28,817		
	会計年度任用職員	2,287	3,894	2,545		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	34,894	30,455	31,362		
	物件費計	0	0	0	0	
歳出計		34,894	30,455	31,362		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	令和5年度に、電子入札システムを活用した入札の対象をさらに拡大し、事業者の負担軽減及び事務効率化を図った。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も入札・契約事務の公正性及び競争性の確保及び向上並びに当該事務の効率化を促進する。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 772

事務事業名称	建設工事検査事務										
測定年度	2023(R5)年度			部	総務部			課	契約検査課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり									
	施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	不明	年度	～		年度まで
根拠法令等	地方自治法第234条の2				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	本市が発注する工事の受注者。			
	サブターゲット	本市が発注する工事の監督職員。			
	ターゲットが抱える課題	地方自治法等による契約の履行が確保される必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	的確な監督業務により、検査職員が実施する検査において契約の適正な履行が確保され、同検査を経ることで監督職員の技術向上が図られる。				
事業概要	・本市(市長部局、上下水道局等)が発注する工事の適正な施工の確保や品質の確保等を図るため、関係する規程・要綱等に基づき、設計審査や工事検査(中間検査、既済部分検査、一部完成、完了検査)を実施する。 ・設計金額が2,000万円以上の工事から抽出し、設計審査を実施する。 ・小規模工事(緊急性のある130万円を越えない工事)の適正な運用を図るため、小規模工事審査会において制度の運用状況について審査する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						契約の適正な履行が確保される。				本市が発注する工事の適正な施工の確保や品質の確保等を図るため、関係する規程・要綱等に基づき、設計審査や工事検査(中間検査、既済部分検査、一部完成、完了検査)を実施する。			
指標設定	指標説明					工事成績評定点の平均 【算出式:工事成績評定点の合計/検査数】				検査に適合した割合 【算出式:検査適合件数/検査数×100】			
						単位	点			単位	%		
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					—	68	70	70	—	100	100	100
	実績					69.11	69.48	69.48	69.67	100	100	100	100
	達成度					100%				100%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	4.10
再任用	0.92
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	39,416	38,974	37,004		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	39,416	38,974	37,004		
	物件費計	66	59	34	73	46.6%
歳出計		39,482	39,033	37,038		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		66	59	34	73	

5. 総括的分析

総括的分析	適正に施工が行われており、概ね目標を達成することができた。
-------	-------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き検査を通じて、監督職員の技術力向上及び受注者のレベルアップに努める。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 858

事務事業名称	契約検査課運営事務									
測定年度	2023(R5)年度			部	総務部			課	契約検査課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	9.施策体系外								
	施策目標	99.施策体系外								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務		区分	庶務的内部管理事務	
事業期間	不明		年度	～			年度まで
根拠法令等	決裁						
関係補助金名称				サンセット		～	
関係附属機関名称							
事業対象	メインターゲット	契約検査課に配属された職員。					
	サブターゲット						
	ターゲットが抱える課題	日常業務に追われる等により、効率的な運営が図れておらず、更なる事務改善が必要である。					
	ターゲットが抱える課題						
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	日常業務の内容や処理過程の見直しを行い、合規的かつ合理的な運営を図ることができている状態。						
事業概要	課の運営業務						

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定	指標説明												
	指標種類												
	指標数値	目標 (見込み)											
		実績											
	達成度												

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.40
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	5,500	5,468	3,158		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	5,500	5,468	3,158		
歳入	物件費計	0	0	1,154	3,126	36.9%
	歳出計	6,202	6,346	4,312		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	2,343	2,368	2,346	
歳入	歳入計（物件費に充当される特定財源）	2,357	2,343	2,368	2,346	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	一般財源（物件費に充当されるもの）	0	0	0	780	

5. 総括的分析

総括的分析	契約実務の手引(マニュアル)の作成に向けて日常業務を再確認し、事務が合規的かつより合理的に処理できるよう取り組んだ。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も課内庶務事務全般を適正に執行しつつ、当該事務の効率化を図る。